

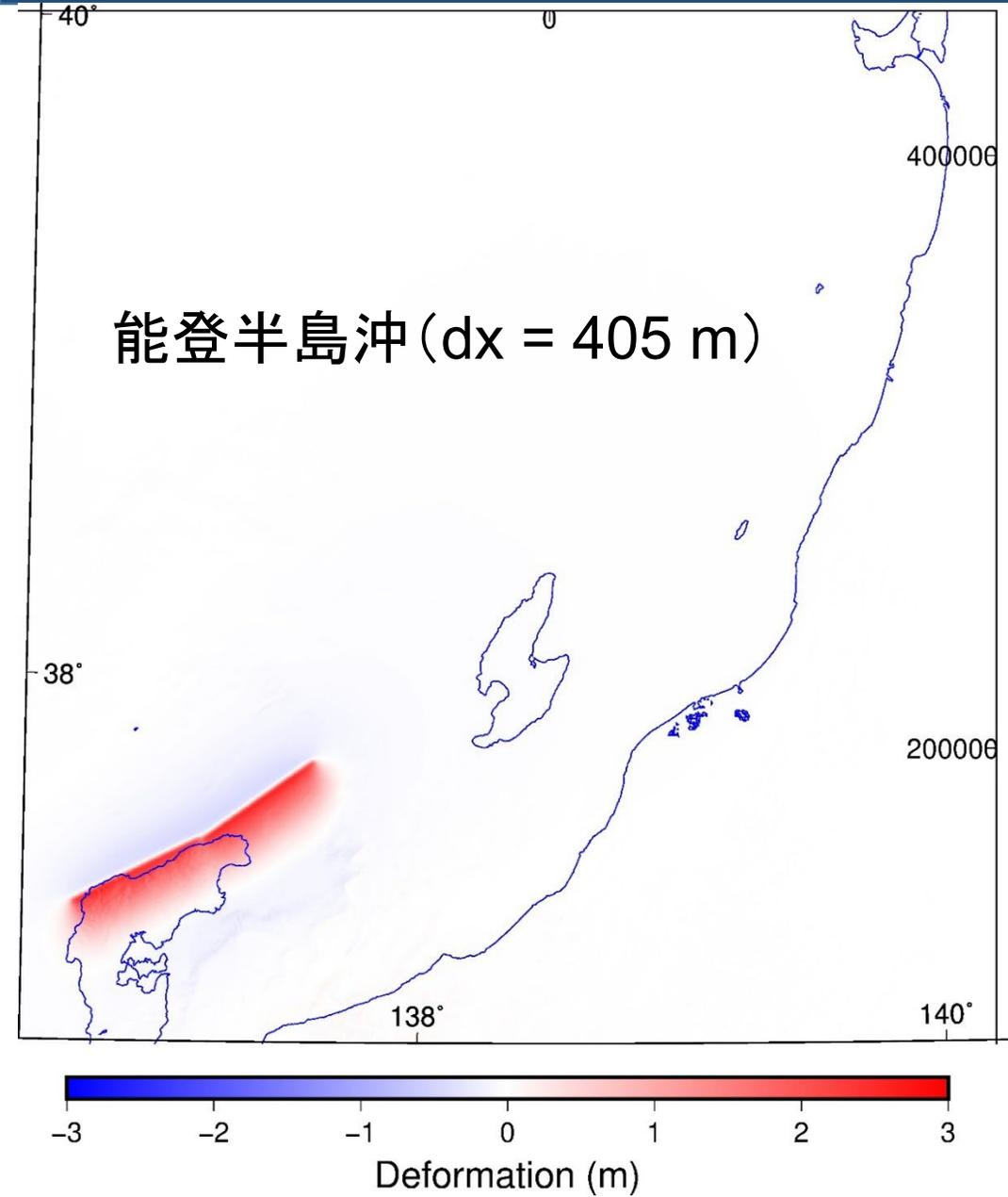
津波の事前解析結果(2022年8月に実施)

今回の令和6年能登半島地震に近い規模及び場所を持つと考えられるF43断層が動いたときの津波推定結果です。この断層が公開された後に2022年8月に自主的に解析を行いました。今後、この推定値と実際の観測値や測定値との比較により、発生メカニズムなどの詳細を研究していきたいと思えます。

遠田晋次教授, 菅原大助准教授,
サツパシー アナワット准教授, 今村文彦教授

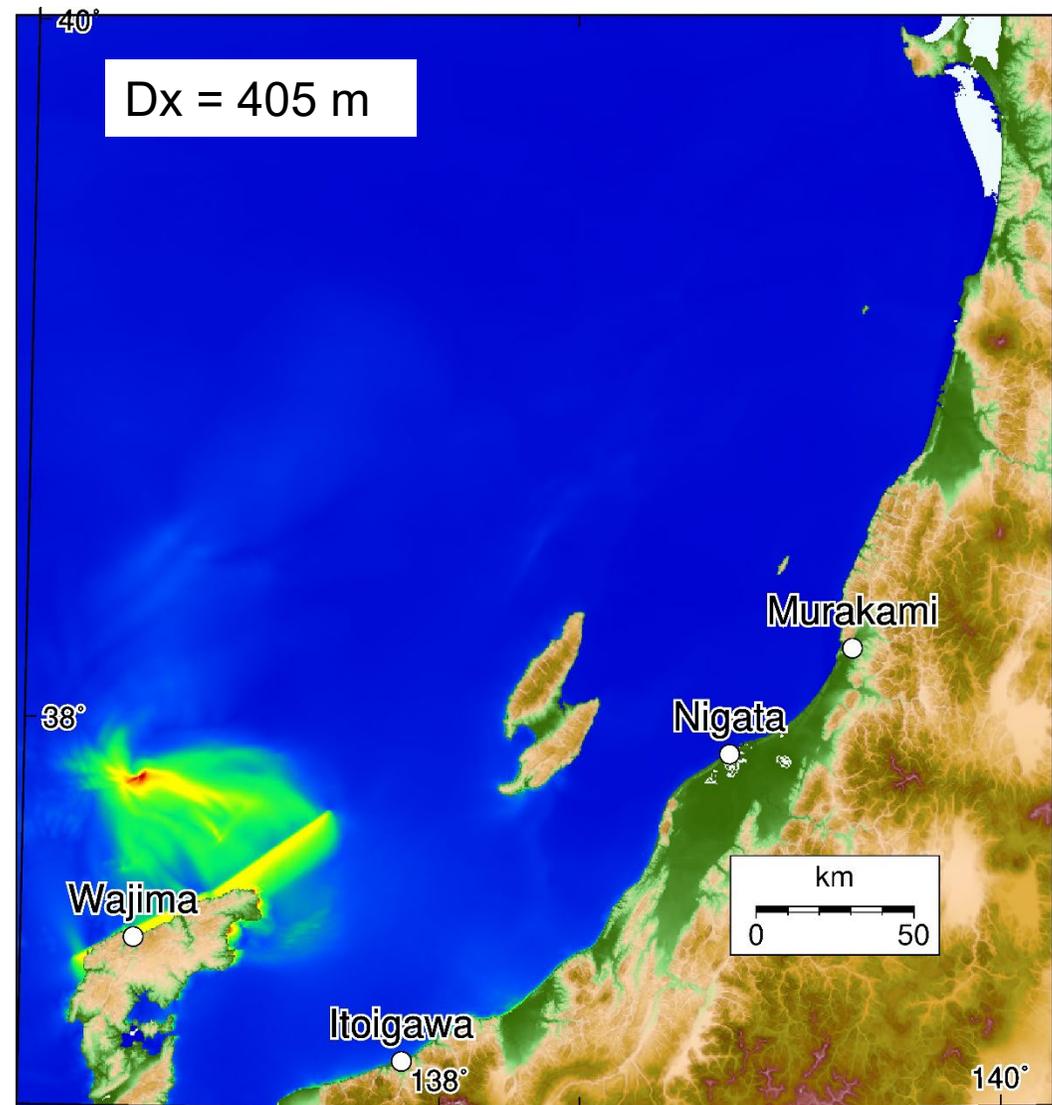
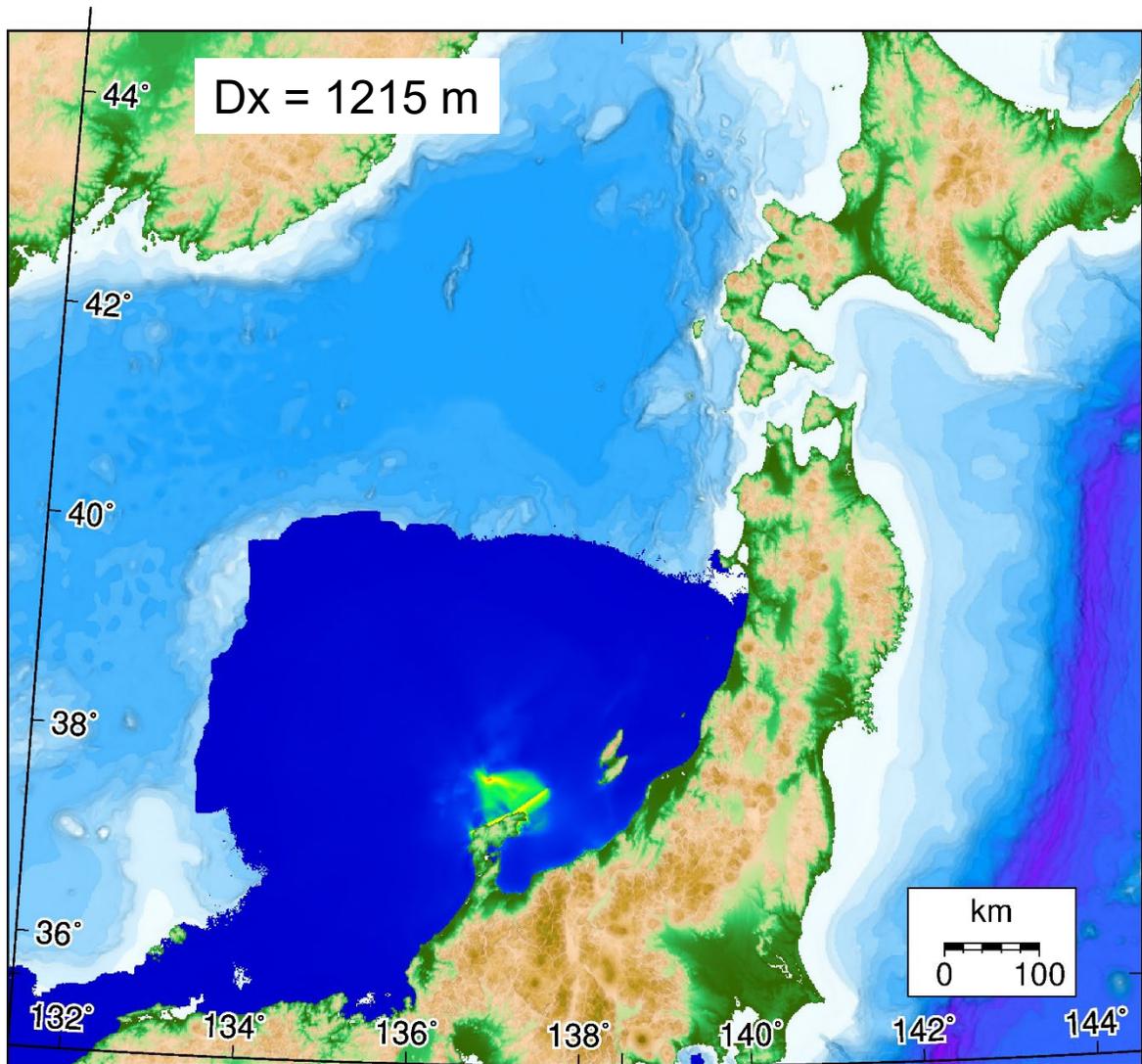
東北大学 災害科学国際研究所





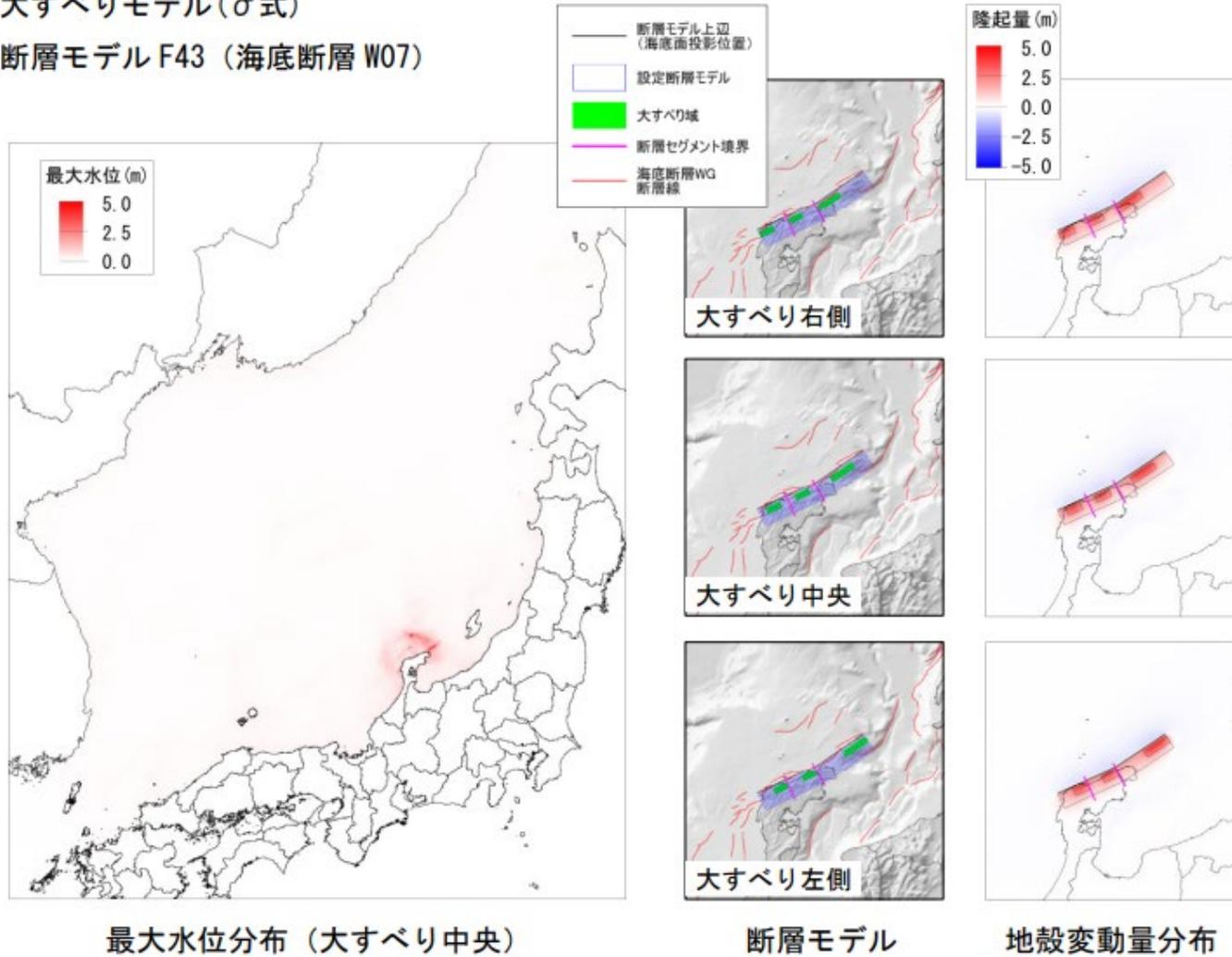
Lon.(E)	Lat.(N)	Depth	Length	Width	Strike	Dip	Rake	Total (m)
136.6811	37.3274	1.1	48.3	19.7	64	45	113	4.5
137.1753	37.5179	1.1	45.9	19.7	55	45	105	4.5

計算結果(最大波高、1時間)

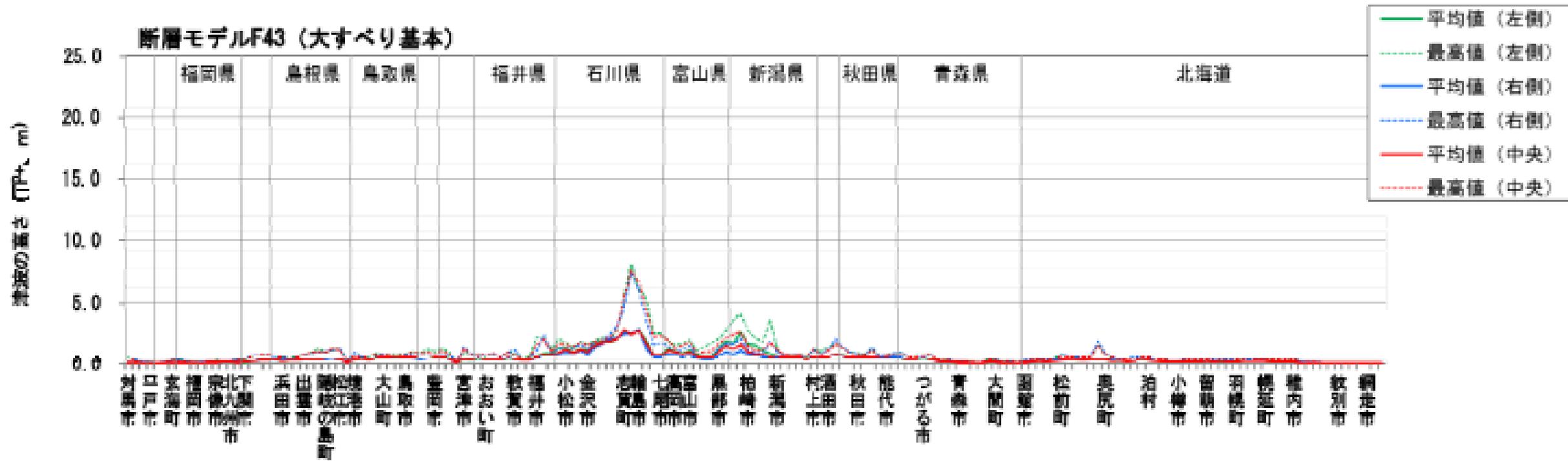


大すべりモデル(σ 式)

断層モデル F43 (海底断層 W07)



日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)
津波の計算結果図表集(2)P101より引用



市町村別の平均津波高および最大津波高

日本海における大規模地震に関する調査検討会(2014)
津波の計算結果図表集(2)P101-102より引用